

2021年度入社式 社長挨拶(要旨)について

山陽特殊製鋼株式会社(社長 樋口眞哉、本社 兵庫県姫路市)は、本日、本社講堂にて2021年度入社式を挙げてまいりました。

入社式における社長挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

山陽特殊製鋼を代表して、当社の一員となられたことを心よりお祝い申し上げます。

新たな、そして、大きな一歩を踏み出された皆さんにとって、2021年度は大きな節目の年だが、当社にとっても、新たな経営計画がスタートする大変重要な1年。

また、当社は、今年度から定年退職する年齢を従来の60歳から65歳へと引き上げた。同業他社に先駆けて定年延長に踏み切った狙いは、少子高齢社会での労働力確保に加えて、当社の競争力の源泉である「技術・技能の蓄積」を期待してのものである。

鉄鋼業界は技術・技能の蓄積型産業と言われ、社員が長く勤めて研鑽を積むことで自身の技能を高めていくことが非常に重要とされている。皆さんも経験豊富な上司や先輩から大いに学び、また自身も仕事を通じて様々な経験を積んで、知見や技能を高めていただきたい。そのために今後、常に意識しつづけていただきたい心がけを2つお伝えする。

一つ目は、仕事に臨むとき、心身ともに良いコンディションで臨んでいただきたいということ。健康な体と心がなければ、仕事も身に付かない。今日から皆さんが心身ともに良いコンディションをキープして、「高信頼性鋼の山陽」を支える存在へ育つことを期待する。

二つ目は、変わることを恐れない、ということ。

会社の中には「変えてはいけないもの」と「変えていくべきもの」の2つが存在している。

「変えてはいけないもの」は、「高信頼性鋼の山陽」に象徴される、ものづくりへのこだわり。開発・品質・安定供給の全方位で信頼を得んとするものづくりの姿勢や価値観は当社に脈々と受け継がれており、これは決して変えてはいけない。皆さんにもこのDNAの担い手となって次世代へ継承していただきたい。

「変えていくべきもの」は、「改善、改革」と呼ばれる領域のもの。会社での仕事は、時代や環境変化に合わせて、この変えるべきものをいかにスピーディーに、適切な方向へ変えられるかが大変重要。鉄鋼メーカーの仕事は、この変化が表に現れにくい面もあるが、上司や先輩とも相談しながら、皆さんの新鮮な目で「物事をよく見て、よく考えて、良い方向へ変えていく」ことを心がけていただきたい。そのような心掛けが、自身および当社の成長に繋がり、働く喜びが実感できることになる。

皆さんが、若い力をのびのびと発揮して、当社発展の原動力として活躍されることを心から祈念し、私からのお祝いの言葉とします。

ご安全に！

山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長 樋口 眞哉